



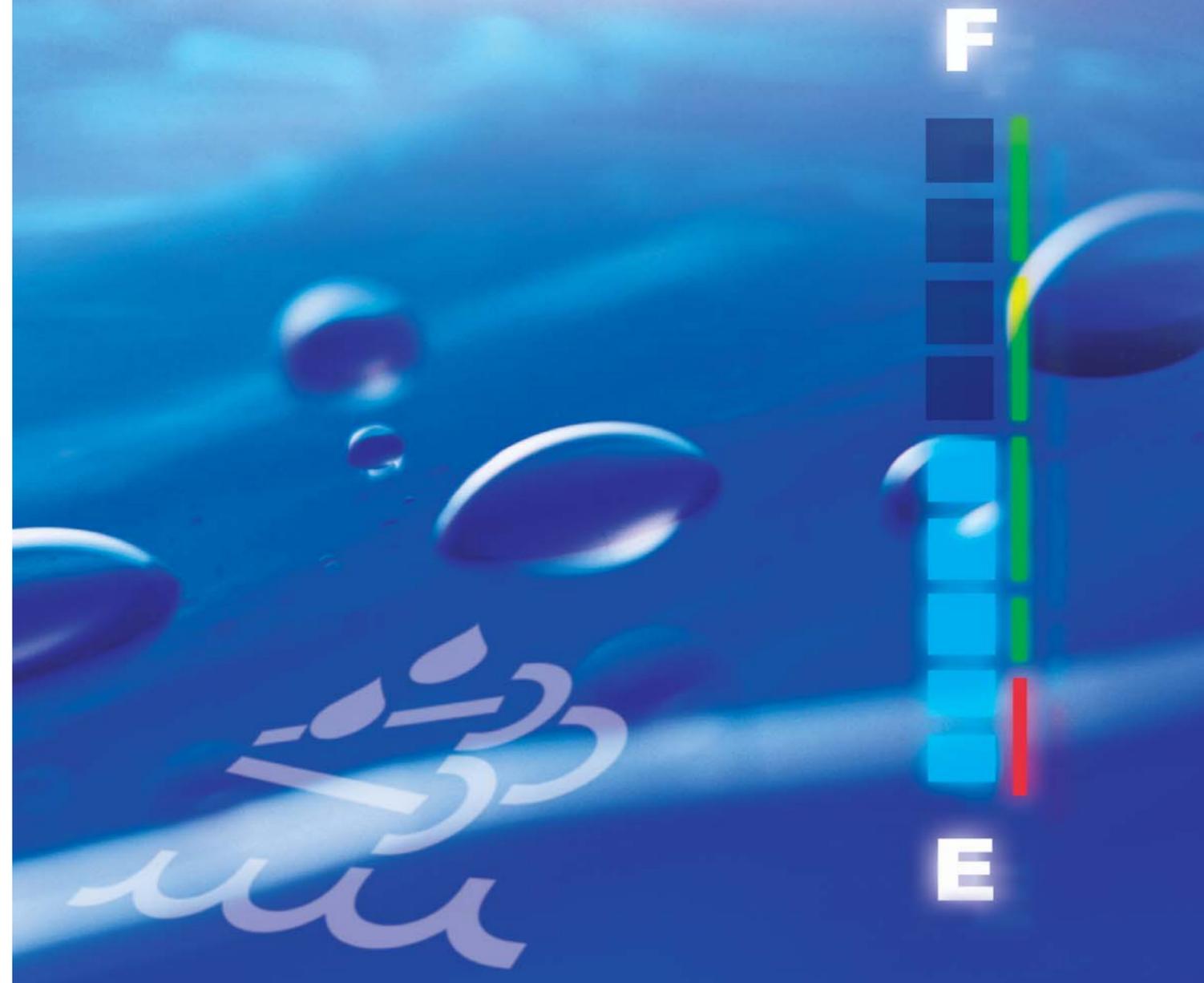
AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。

AdBlue®とは先進と言う意味の”Advanced” と青空のイメージである”Blue”の合成語です。

KOMATSU

AdBlue®(アドブルー)について

管理・取扱いの基礎知識



KOMATSU

AdBlue® (アドブルー) について

— 管理・取扱いの基礎知識 —

AdBlue®とは?

AdBlue®は高純度の尿素と純水を原料とした無色透明の32.5%尿素水溶液です。特別な取扱い資格も必要ありません。

- エンジンからの排出ガス中に尿素水を噴霧し、触媒の化学反応で窒素酸化物(NOx)を低減する装置を、尿素選択還元型触媒システム(以下「SCRシステム※」)と呼びます。
- コマツSCRシステムにて使用する尿素水はJIS(JISK2247-1)規格に適合したAdBlue®(アドブルー)をご使用下さい。

※SCR: Selective Catalytic Reduction (選択還元型触媒)

AdBlue®供給パッケージ例



AdBlue®の取扱いの注意点

補給について

- 補給の目安は燃料補給2回(全量)に対してAdBlue®1回(Fullまで)の補給が必要になります。
- 燃料補給の際は必ずAdBlue®タンクのサイトゲージを点検し、必要に応じて補給を行ってください。

— 注意点 —

- 補給口のキャップは青色です。(1)
- サイトゲージのFライン以上に補給しないで下さい。(2)
- AdBlue®がこぼれた時はすぐに拭き取り、水で洗い流して下さい。
- AdBlue®タンクにはAdBlue®以外入れないで下さい。(3)
(水、燃料等の混入はSCRシステム誤作動の原因になります。)



<例:コマツD85-18 AdBlue®補給口>

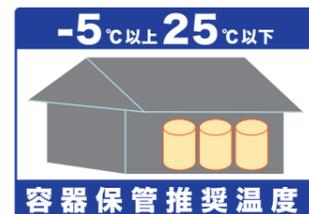


(2) サイトゲージ (3) 安全標識

管理について

— 保管 —

- ゴミや埃、水の混入防止のため、AdBlue®を保管する場合は購入時の容器を使用して下さい。
- 風通しの良い、長時間直接日光の当たらない場所で保管して下さい。
- AdBlue®は-11℃で凍結しますが、再び溶ければ品質に変化はありません。
- 機械が長期間休車した場合は、品質が変化しているおそれがあるため、タンク内のAdBlue®は全交換をお願いします。



— 廃棄 —

- AdBlue®および空容器を廃棄する場合は、それぞれの地域で定められた法規に従ってください。都道府県知事に許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し適切に処理をお願いします。
- AdBlue®を廃液として受ける容器には、ポリプロピレン、ポリエチレン、ステンレス製を使用下さい。
- 古くなったAdBlue®からアンモニア臭がすることがありますので、廃棄作業は風通しの良い場所で行い、直接臭いがかがらないように注意して下さい。

AdBlue®の取扱い上の注意

- 万一、皮膚に付着したときは、体質によって炎症を起こすおそれがありますので、石鹸を使ってよく洗い流して下さい。皮膚に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の治療を受けてください。
- 誤って飲み込んでしまったときは、無理に吐かせようとせず、水で口の中を洗い、速やかに医師の治療を受けてください。
- 目に入ったときは、直ちに清浄な水で数分間洗い流した後、速やかに医師の治療を受けてください。
- AdBlue®を取り扱う場合は、保護めがねとゴム手袋を着用して下さい。
- 取扱いについての詳細は取扱説明書または、AdBlue®安全データシートをご確認下さい。
(AdBlue®安全データシートは各メーカーホームページより確認できます。)

AdBlue®を清潔に

- AdBlue®へのゴミや埃の混入はSCRシステム不具合の原因となります。
- タンク補給口周辺に付着した土、埃等はきれいに拭き取って下さい。
- AdBlue®を他の容器に移し替えることは避けて下さい。
- AdBlue®フィルタの交換やタンクの清掃は取扱説明書に基づいて定期的実施して下さい。

AdBlue®ポンプ



AdBlue®フィルタ



AdBlue®タンク

